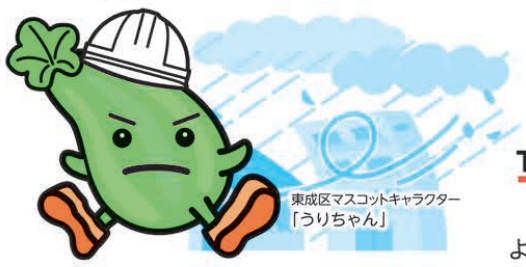
Higashinari
ひがしなりだより

防災特集〔風水害編〕保存版

風水害編 特集号のおもな記事

- 風水害対策 …… 5面
- 東成水害ハザードマップ ……6～7面
- 日頃から風水害時に備えよう!‥ 8面

2024年（令和6年）6月発行



The City of Osaka website offers information in multiple languages.

台風や大雨による被害は日本全国で毎年のように発生しており、大阪でも平成29年10月の台風21号による浸水、平成30年9月の台風21号による暴風・高潮などにより甚大な被害を受けました。

台風や大雨の場合、避難に関する情報が自治体・気象庁などからあらかじめ発表される場合がほとんどですので、お住まいや勤務先、旅行先などの災害の危険性を把握したうえで、どのような場合にどこへ避難するか、適切な避難行動を考えておくことが大切です。

“もしも”が起こる前に、日ごろからかんがえておきましょう！

風水害対策「もしものとき」にあわてないために

防災会議を開きましょう！

どのような場合にどこへ避難するか、あらかじめ適切な避難行動を考えておくことが大切です。そのことは、一緒に住んでいる方や、離れた家族や友人などとも共有することも重要です。

〔主な検討事項〕
- 避難場所や落ち合う場所
- 安否確認の方法（連絡手段など）
- 避難出口の確認

家族の防災会議（大阪市ホームページ）

マイタイムラインを作ろう！

家族や友人などと話し合ったことや自分自身で考えた「自分の逃げ方」を、**マイタイムラインや緊急連絡カード**などにまとめましょう！

マイタイムラインの様式、記入方法など

大阪市　国土交通省

災害ごとに避難のタイミングと避難先を確認しましょう！

《水害時》（避難情報警戒レベル3以上発令時）　河川等氾濫など水害への備え 避難フロー

ご自宅の周辺の浸水の深さを浸水想定図（水害ハザードマップ）からご確認ください。

スタート

浸水想定図でご自宅周辺は着色されていますか？
- いいえ → 避難の必要はありません。⚠あくまで想定ですので、日ごろの準備は必要です。
- はい → ご自宅は家屋倒壊等氾濫想定区域内にありますか？
  - はい → **避難が必要です!!** 堤防が決壊すると家屋が倒壊・流出するおそれがあります。**まず家屋倒壊等氾濫想定区域の外に避難**したうえで…
  - いいえ → 浸水の深さは？
    - 5.0m以上 → お住まいの階は？（戸建て住宅の場合は最上階）
      - 3階以上 → ご自宅の安全な場所で待機することが可能です。
      - 2階以下 → **避難が必要です!!**
    - 3.0m～5.0m未満 → お住まいの階は？
      - 3階以上 → ご自宅の安全な場所で待機することが可能です。
      - 2階以下 → **避難が必要です!!**
    - 0.5m～3.0m未満 → お住まいの階は？
      - 2階以上 → ご自宅の安全な場所で待機することが可能です。
      - 1階 → **避難が必要です!!**
    - 0.5m未満 → ご自宅の安全な場所で待機することが可能です。

浸水しない場所へ避難

浸水しない安全な場所へ

原則 浸水が始まる前に早めの避難!!
- 避難先の優先順位 1：自宅・親戚宅・知人宅・職場など
- 避難先の優先順位 2：最寄りの避難所

逃げ遅れたら その場そのときで命を守る場所へ
- 避難先の優先順位 3：・最寄りの水害時（津波）避難ビル　・高い建物や高い場所

⚠ 上記はあくまで目安です。建物により居室の床の高さが異なりますので、上記図によらない場合があります。また、老朽化した木造家屋の場合は家屋倒壊等氾濫想定区域外であっても家屋の倒壊・流出の可能性があります。

※外出時は、「お住いの階は？」を「滞在場所（勤務地、宿泊先）の階は？」と読み替えてください。

《台風発生時》

台風発生
- 台風に関する情報を確認
- 防災用品の確認

↓

台風接近（上陸3日前）
- 避難場所の確認（遠方への避難を検討）

↓

台風上陸直前（上陸1日前）
- 交通機関計画運休等の確認
- 広域避難開始（遠方へ避難できる場合）

↓

台風上陸・最接近
- 屋内安全確保（堅牢な建築物へ避難または家から動かない）

《水害ハザードマップ》（東成区版は次ページで確認!）

大阪市			大阪府	全国
〔日本語版〕	〔多言語版〕（Multilingual Version）	マップナビおおさか	ハザードマップポータルサイト（おおさか防災ネット）	ハザードマップポータルサイト（国土交通省ホームページ）
水害ハザードマップ（大阪市ホームページ）				

暴風・竜巻の備えも!!

毎年強風注意報が50回前後、そのうち暴風警報が複数回発生しております。また、竜巻の注意喚起も年に複数回発表されています。お住まいや所有の空家の対策を怠らないようにしましょう！

- 瓦やスレートの点検、補強
- 窓に飛散防止フィルムを張る
- 植木鉢などが飛ばされないように

勤務先や通学先、旅行先のハザードマップも確認しましょう!

■広告の内容等、掲載された広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、大阪市が推奨等するものではありません。

地域では自主防災活動の取組みとして、毎月1日、サイレンを鳴らしています。問合せ 市民協働課 ☎ 6977-9042